【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第４区分
【発行日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【公開番号】特開2005-154856(P2005-154856A)
【公開日】平成17年6月16日(2005.6.16)
【年通号数】公開・登録公報2005-023
【出願番号】特願2003-396825(P2003-396825)
【国際特許分類】
Ｃ２３Ｃ　2/02　(2006.01)
Ｃ２１Ｄ　9/46　(2006.01)
Ｃ２２Ｃ　38/00　(2006.01)
Ｃ２２Ｃ　38/06　(2006.01)
Ｃ２３Ｃ　2/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ２３Ｃ　2/02
Ｃ２１Ｄ　9/46　Ｊ
Ｃ２２Ｃ　38/00　３０１Ｔ
Ｃ２２Ｃ　38/06
Ｃ２３Ｃ　2/06

【手続補正書】
【提出日】平成18年7月27日(2006.7.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項３】
鋼成分が、Si（％）≦3.0mass％、Al（％）≦3.0mass％、かつ0.6Si（％）≦Al（％）+0.3を満足する鋼板を、直火還元加熱方式の加熱炉を用いて加熱し、さらに還元炉に導き鋼板表面の還元ならびに焼鈍を行った後、溶融亜鉛浴に侵入させ亜鉛めっきを施して溶融亜鉛めっき鋼板を製造する方法において、直火還元加熱方式の加熱炉における空燃比が0.7～1.2の範囲にあり、かつ加熱炉の前段の空燃比が1.0以上で後段の空燃比が1.0未満であることを特徴とする溶融亜鉛めっき鋼板の製造方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
第三発明は、鋼成分が、Si（％）≦3.0mass％、Al（％）≦3.0mass％、かつ0.6Si（％）≦Al（％）+0.3を満足する鋼板を、直火還元加熱方式の加熱炉を用いて加熱し、さらに還元炉に導き鋼板表面の還元ならびに焼鈍を行った後、溶融亜鉛浴に侵入させ亜鉛めっきを施して溶融亜鉛めっき鋼板を製造する方法において、直火還元加熱方式の加熱炉における空燃比が0.7～1.2の範囲にあり、かつ加熱炉の前段の空燃比が1.0以上で後段の空燃比が1.0未満であることを特徴とする溶融亜鉛めっき鋼板の製造方法を提供する。